



黒沢一成議員
(無所属)

入江田沼周辺の活用は

土砂仮置き場として利用

問 震災後がれき置き場として使われてきた入江田沼周辺だが、今後の復旧予定は。

公園には仮設住宅が建ち、屋外における町民の憩いの場が少ない。宅地の造成が急務であることは重々承知であるが、一部だけでも開放してパークゴルフ場等として利用できないか。

佐藤町長 がれきの処理が完了し更地となっているが、船越地区の高台道路工事で発生する土砂の仮置き場として利用する。パークゴルフ場等としての開放はできない。

問 入江田沼周辺から前須賀公園までかなり広い面積だが、全てを土砂置き場として使うのか。

阿部建設課長 浦の浜、前須賀の防潮堤工事もある。

り、あれだけの面積がどうしても必要となる。

問 土砂置き場の後はどうするのか。

阿部建設課長 船越公園については国の災害査定を受ける予定だが、実施については未定。家族旅行村については今後検討していきたい。

基本的には従前の利用方法となる。ただし、前須賀公園については防潮堤に面積をかなり取られるので、廃止になるものと考えている。できるだけ早く



土砂置場として利用する入江田沼周辺

く土砂を片付けて公園として復旧したいと考える。

問 子どもの遊び場が不足している。ちょっとした空き地でも子どもの遊び場として開放しながらの復興はできないのか。

沼崎復興推進課長 子どもの遊び場として開放するには、けががないように基礎の完全な撤去、土を入れるなどの配慮が必要となる。将来的には考えていくが、現段階ではそこまでできない。

放課後児童クラブの時間延長は

要望は出ていない

問 放課後児童クラブの設置状況と利用人数はどのようになっているか。

保護者が児童を引き取りに来る時間帯は何時までか。時間延長の要望は出ていないか。

佐藤町長 現在4カ所放課後児童クラブがあり、131人の児童が利用している。

保護者が児童を引き取りに来る時間帯は午後6時までとなっている。時間延長についての要望は出ていない。

児童の安全のため保護者には、家庭から放課後児童クラブに近い、遠いにかかわらず、帰りは必ず迎えに来てもらうこととしている。

その他の質問

◆住民協働推進補助金の利用状況は